

「オラパリブ+BV 療法」について

この治療法は、卵巣癌の治療法です。BVとはベバシズマブの略語です。

1. 投与方法

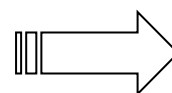
薬剤	効能または使用目的	投与時間
生理食塩液	点滴ルートの確保と洗浄	—
ベバシズマブ	抗がん剤	30分

※オラパリブの服用方法は別紙をご参照ください。

2. スケジュール

オラパリブ+BV 療法は21日サイクルでベバシズマブを投与していきます。初日にベバシズマブを投与すると残りの20日間は「休薬期間」といい、体調の回復を待ちます。その後同様にして治療が進みます。

	1サイクル目		2サイクル目	
	1日目	2日目～21日目	1日目	2日目～21日目
ベバシズマブ	○		○	
休薬日		○		○



※オラパリブの内服スケジュールは別紙をご参照ください。

3. 特徴

●ベバシズマブ

作用: がん細胞への血管新生を抑制することで、酸素や栄養を届かなくする作用と、他の抗がん剤をがん細胞へ届きやすくする作用があります。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。

※オラパリブの特徴は別紙をご参照ください。



4. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にさせていただきたいと思います。)

※オラパリブによる副作用は別紙をご参照ください。

高血圧症

好発時期: 投与開始後4ヶ月以内の発症が多いようです。

対策: 自宅での定期的な血圧測定をお願いします。

めまい、ふらつき、がまんできない頭痛と吐き気、けいれん、などの症状が出た場合はご連絡ください。

安静時にくり返しの測定をしても最大血圧が180mmHg または最小血圧が120mmHg を超える場合もご連絡ください。

出血傾向

好発時期: 投与初期に多い傾向がありますが、治療期間を通して可能性があります。

対策: 粘膜からの出血が多いようです(鼻血、歯肉など)が、通常は軽く、自然にまたは圧迫することで止まります。
(もし、10～15分位しても止まらない場合はご連絡ください)

傷口が治りにくくなることがありますのでケガなどには注意してください。

口から血を吐いたり、下血などが見られた場合は早めにご連絡ください。



間質性肺炎

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。発症率は低いですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ**、**呼吸困難**、**空咳**、**発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

対策: 初期症状は風邪によく似ているため自己判断せずに早めにご相談ください。



アレルギー

好発時期: 点滴中または点滴後の比較的早い時点で現れることがあります。

自覚症状は、息苦しい、顔がほてる、胸が痛い、発疹がでる、汗がでる、などです。

対策: 異常を感じたらすぐにスタッフにお知らせください。

血管外漏出

抗がん剤を点滴しているときに血管の外に薬が漏れてしまう(漏出)ことがまれにあります。症状としては点滴部位の違和感、痛み、腫れなどで、場合によっては血管に沿って症状が出てくることもあります。もし、症状にお気づきになった場合は早めにスタッフにお声掛けください。

好発時期: 点滴している間が最も多く、まれに帰宅数日後に症状が出てくる場合があります。

対策: 抗がん剤の種類によって対策が異なります。基本的には患部を温めたり、軟膏や注射による治療を行います。

※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。

済生会宇都宮病院

代表:TEL 028-626-5500